

第104回全国高等学校野球選手権地方大会  
 ブラスバンド入場に関するガイドライン

朝日新聞社  
 日本高等学校野球連盟

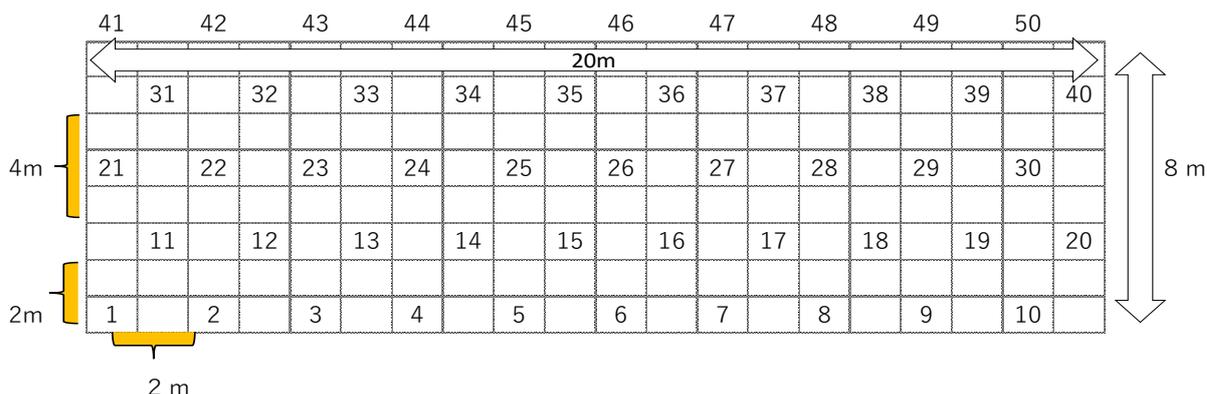
1. 前提

(1) ブラスバンドの入場に関して、当該地域の感染状況、行政の指針、球場関係者の意向も踏まえ、第104回全国高等学校野球選手権地方大会の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインならびに本ブラスバンド入場に関するガイドラインを遵守できる場合のみ、その可否を主催者が判断する。

2. ブラスバンド入場に関して

- (1) ブラスバンド入場が可能な人数は50名以内（楽器を使用し応援する生徒）を原則とする。ただし、球場ごとに収容人数が異なるため、演奏者が下記の距離（前後、左右の演奏者との間隔2m）が取れるのであれば、慎重に検討のうえ、50名を超えて入場することも差し支えない。
- (2) 参加校はブラスバンドの入場を行う場合、あらかじめ主催者へ連絡し、参加校、主催者で情報共有する。
- (3) 当該高校野球連盟はブラスバンド入場場所に関して、スタンド内をゾーニングしたうえで、隣の演奏者と2m、前後の演奏者と2mは必ずソーシャルディスタンスを取ることにする（下記：ブラスバンド配置図（例）を参考とする）。また、対面を避け、横並びで演奏する。
- (4) 楽器の特性から特にフルート、ピッコロ、クラリネット、トロンボーンは他楽器の奏者との距離を十分に空けるよう留意する。
- (5) 結露は十分に注意して処理する。各自タオルを持参し、常にタオル専用袋を用意して厳重に管理する。処理する際は、楽器にタオルを近づけて行い、周囲に飛沫が飛ぶことを防ぐ。
- (6) マウスピースのみを使用して音出しを行う際は、マウスピースの先端付近にタオルを近づけ、周囲に飛沫が飛ぶことを防ぐ。
- (7) 譜面、譜面台、打楽器のスティック等の道具は共有せず、個人管理とする。
- (8) 楽器を使用したアクションは行わず、常に座って正面を向いて演奏する。
- (9) 万が一、ブラスバンド部員が球場来場から14日以内に感染が判明した場合は、速やかに主催者に連絡をしてもらう。

例) ブラスバンド配置図(50名の場合) ※番号は、人の位置 ※横と前後の人との間隔は2m



以上